



徳島県立中央病院 患者支援センター  
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3  
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151  
FAX 0120(631)715  
mail: chiiki@tph.gr.jp

## 泌尿器科におけるロボット手術 ～膀胱がん～

徳島県立中央病院 泌尿器科 佐々木雄太郎

ここでいうロボット手術とは、米 Intuitive Surgical 社の内視鏡手術支援ロボット「da Vinci Surgical System（通称：ダヴィンチ）」を使う内視鏡手術のことです。ダヴィンチ手術とも言います。2012年にダヴィンチ手術が前立腺がんにおいて初めて保険適用になりました。それから7年が経ち、ダヴィンチ手術は泌尿器科で日常的に行う手術のひとつになっています。ダヴィンチ手術は、認定資格を取得し、十分なトレーニングを積み、熟練した技術を持つ医師によって行われます。当院では、5名の泌尿器医がこの認定資格を有しており、精度の高い安全な手術を患者さんに提供できるよう、日々研鑽しています。

2018年には膀胱がんに対する膀胱全摘除術においてダヴィンチ手術(RARC)が保険適用になりました。三次元立体画像による高解像度の拡大視野、多関節鉗子や手ぶれ防止機能による自由度の高い繊細な操作性などにより、高い精度が求められる膀胱全摘除術で非常に有用です。

さて、膀胱全摘除術を行う場合、同時に尿路変向術を行う必要があります。特に腸管を利用した尿路変向術（回腸導管造設術、新膀胱造設術）は、手術手技が複雑で合併症の発生率が高く、泌尿器科領域における最も難易度の高い手術のひとつです。

膀胱全摘除術はダヴィンチ手術を、尿路変向術は開腹手術を行うのが一般的です。しかし、当院では尿路変向術も体腔内でダヴィンチ手術を行っています(ICUD)。開腹手術では創の大きさは約20cmですが、ICUDでは約3cmで行うことができます(図1)。その他、術後の痛みが少ない、腸管関連の合併症が少ない、出血が少ない、という低侵襲性がICUDの特長です。

2018年には、RARC 22例のうちICUD 14例(回腸導管造設術 12例、新膀胱造設術 2例)を行いました。四国内はもちろん、全国でもトップクラスの症例数です。今後も症例を重ねて、精度の高い安全な手術を患者さんに提供できるようにしたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

図1  
回腸導管における創の大きさ

